



「不屈」NO.579 付録
石川版 NO. 336
2022年9月15日
治安維持法犠牲者国家賠償
要求同盟石川県本部
〒920-0856
石川県金沢市昭和町5-13
石川県平和と労働会館2F
国民救援会石川県本部気付
TEL・FAX 076-262-3447

ワタナベ・コウさんの講演——伊藤千代子が 問いかけるもの——

治安維持法犠牲者国賠同盟石川県本部 会長 尾西洋子

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟石川県本部 第39回
総会の記念講演として、ワタナベ・コウさんに講演いただき、
たくさんの人に喜んでいただきました。

戦前、過酷な弾圧のもとで、なぜ信念を貫けたのか。女性
には選挙権も被選挙権もない、そのもとで、日本共産党が男
女普通選挙権を掲げました。政治活動が禁じられているなか
で、女性党员としてたたかった千代子たちの女性群像。監獄
のなかでも、信念を貫いての闘い・・・。

拷問を受けても傷ついても、自分の夫や変節した人たちが
いてもです。そこには何があったのか。



私は、自分の生き方も重ね合わせ、社会は変えられること
への確信があり、科学的社会主義を学び歴史の発展方向への
展望を持たずにはいられないかと思えます。社会の変革をめざ
す・その生き方そのものが、自分を自由にして希望をもつ
て仲間と歩んでこられたのでないかと思えます。

今、コロナ危機、物価高のなかで、自分を押し殺して生き
なければならぬ人もたくさんいます。その状況を変えたい
という生き方に希望があることを学びましょう。そして、私
が私らしく生きられる社会をめざし、多くの皆さんに、是非、
「ともに生きよう、時代を変えよう」と呼びかけて、ごいっ
しょに進んでいきましょう。

手記・「ワタナベ・コウさんの講演を聞いて」

2022年9月6日

治維法犠牲者国賠同盟石川県本部 副会長 升 きよみ

「チアインジホウギセイシヤ国家賠償要求同盟」と言ったら「そんな組織が有るのですか?」と尋ねられました。ムズカシイ組織と思っている人達が多い中で、「戦前、治安維持法と云う法律があり、この法律の為に苦しめられた人達がいきました。『反戦、平和を求める人達の闘いの歴史を学ぶ』ことが、今ますます重要になっていきます。」と答えています。

今回、映画「わが青春つぎるとも」の上映運動が行われ、その内容を深めるために、伊藤千代子を漫画化したイラストレーターワタナベ・コウさんの講演がありました。

そのお話を聞きながら、小林多喜二をはじめ、語られる人々のことや、当時の無権利状態の時代背景等と歴史を学び乍ら、自らの経験を思い起こしていました。

私は家が貧しく、高校は入学したものの、途中で夜間高校に変わり、昼は働きながらの高校生活でした。その職場では労働組合もなく、違法残業続きで、労基署から見廻りが来ると、一斉に便所に隠れるなど無権利状態で、沢山の矛盾を感じる日々でした。

学校では、文芸部に所属し、いろいろ本を読みあさっておりました。特に、宮本百合子の「貧しき人々の群れ」や「伸子」、多喜二の「蟹工船」等プロレタリア文学に心惹かれて

おりました。そんな折、文芸部の先輩から共産党の入党のお誘いを受け、入党は18歳になるのを待って、多喜二の小説にあやかり、「3月15日」の記念日としました。

当時、家族に内緒で「赤旗」を取り、夜こっそり布団の中で隠れて読んでいました。女性運動や労働運動に心が動き、職場を辞め、労働組合の仕事に就きました。その年、平塚らいてう(ひらつからいちよう)さん、羽仁説子さん達の呼びかけによる新日本婦人の会の創立運動にパンフを持って走り廻りだしました。

あれから60年、今、新しい形での漫画やイラスト、映画、SNS等を駆使しながら、表現方法を変えながらも、歴史から学び、未来を切り開くエネルギーが、ジエンダー平等や平和を求める若い人たちの活動の芽生えと思うと嬉しい限りです。

この人たちの力を借りて、同盟本部が「2020年代に治安維持法体制に決着をつけよう」と呼びかける運動を成功させたいものです。

2022年度署名開始
(6月1日から)。

国会請願署名
の集約状況

2022年9月10日

個人署名
目標 3,000 筆
到達 85 筆

団体署名
目標 250 筆
到達 0 筆

※しんぶん赤旗・東海北陸信越のページ・9月6日) ※

◎国賠同盟総会／石川

▽自由の先に平和がある

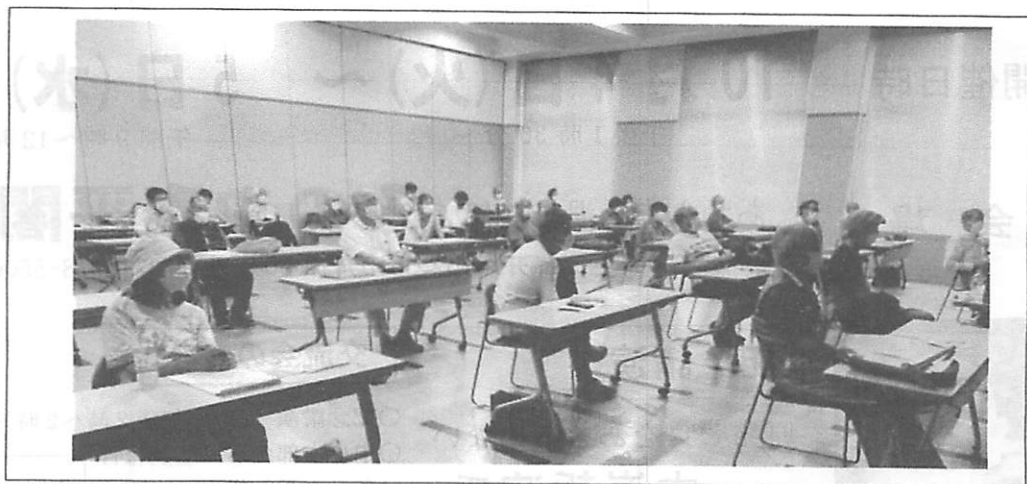
治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟石川県本部は3日、金沢市で第39回総会と記念講演をし、33人が参加しました。イラストレーター・漫画家で「ワタナベ・コウの日本共産党発見!」「漫画 伊藤千代子の青春」などの著者のワタナベ・コウさんが「伊藤千代子が問いかけるもの」と題して講演を行いました。

コウさんは、24歳で獄死した伊藤千代子が生きてきた時代背景を紐解きました。千代子は1905年、現在の長野県諏訪市に生まれます。当時の日本は絶対的天皇政治のもと、国民は貧困と無権利状態に置かれていました。貧困や不平等をなくすため、自ら活動する道を選びます。22歳で共産党に入党。治安維持法下、3月15日の大弾圧で千代子は検挙されます。拷問にも屈せず志を貫きます。しかし、激しい拷問で病に倒れ、急性肺炎で死去します。

コウさんは、「自由にモノが言える先に平和の大切さがある」との言葉を紹介し、「千代子の映画を素材に日本近代の歴史を学習し、より多くの人と語り合おう」と述べました。

尾西洋子県本部会長がいさつし、日本共産党の佐藤正幸県議と国民救済会県本部代表が来賓あいさつをしました。

総会は活動方針や役員体制などを決め、岸田内閣の国民への「国葬」押しつけは許せないと、「故安倍晋三元首相の『国葬』に反対する決議」を採択しました。



幹事 末友雅子 幹事 平野 栄 相談役 北口吉治
" 納口清隆

事務局長 堀井三吉
" 次長 樋爪真理
幹事 田畑吉廣
" 奥 護

選出された役員

県本部会長 尾西洋子
副会長 金子視好
" 升きよみ

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

2022 年度

長野・新潟・富山・石川・福井

inふくい

北信越ブロック交流会

私たち同盟は、「2020年代に治安維持法体制に決着をつける」ことを目標に、さらに行動する強大な同盟建設をめざしています。そのために北陸・信越5県の同盟活動を交流し学びあいましょう。

今年の北陸・信越ブロック交流会は、歴史あるあわら温泉で開催します。この地は1928年、普通選挙の中で労農党弾圧事件がおこった場所です。記念講演は、原発銀座といわれる若狭地方で原発稼働に抗議し、原発ゼロを訴え続けている中畠哲演・明通寺住職のお話です。治安維持法で国民を弾圧して侵略戦争を推進した天皇制政府と住民の反対と不安を無視して原発政策をすすめる、自民党政治は戦前の暗黒政治と重なります。

開催日時

10月4日(火)～5日(水)

午後1時30分～

午前9時～12時

会場

あわら市 温泉旅館 **みのや泰平閣**

福井県あわら市舟津 50-1-1 Tel.0776-78-5566



記念講演

原発ゼロをあきらめない

講師 **中畠哲演氏**

(真言宗明通寺住職。原子力発電に反対する福井県民会議共同代表)

交流会の内容

- 記念講演 10/4 午後2時～2時50分
- 中央本部からの基調報告
- 各県からの報告、交流
- ◆参加費 必要です
- ※詳細は、各県本部までお問合せ下さい。
- ◆会場へのアクセス(別紙)

4日～5日

主催/治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟中央本部

○連絡先/北信越の各県本部まで(福井県の連絡先 0776-76-0836(村井))